

～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

戦争とまくと、沖縄や広島、長崎などが有名で、すぐ思い浮かびますが、意外とみじかな場所でもかなり被害を受けていると聞きました。

授業で習っていたのでおおまかなことは知っていましたが、被害は見たことがなかったので、驚きました。

「他人の傷みを共有し自分ごととして考える。」

「歴史的想像力」をもつ」ということを大切にしながら人と人を架ける橋になるようがんばりたいです。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

私が出前授業を聞いて特に大切だと思ったことは2つあります。

1つは「戦争を体験していない若者が次の世代に伝える」ということです。

戦争に関する取材をし、記事をまとめたのも戦争を体験していない若い

世代の方だとおっしゃっていたし、平和な世界を作り上げるためには私たちが

中学生が後輩に伝えることも大切だと聞きました。なので、今回広島へ

行って学んだことを沢山の人の伝えるようにしたいと思います。

2つ目は「人命と人権を守る」ということです。1人1人に丁寧に接する

ことなどを意識し、全員の人命と人権を守るということを大切にするべ

きだと感じました。

今日出前授業を聞いて学んだことを広島に行きからの学習で

参考にするようにしたいです。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

小さな子達はじっさいにある。せんそうの映画や画像など
を見ても分からない子もいたりして、きょうふを伝えることはム
ズかしいだろうなと思いつつながら新聞教育出前授業
を聞いていたのですが、とちゅう「ジブリ」映画の画像
が出てきた時自分が小さいころ、垂るの墓を何回も見た
時があり、何で何回も見たのか理由が分かりせんそうは何回も
続くからきょうふも続くことを知り、だからなんじじゃないかと
思い、小さな子達に伝わりやすくきょうふが続いている人々達が
亡くなってしまうからせんそうはゼツタイに、ではいけないと伝えるた
めの作品じゃないかと思いました。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

広島と長崎の原爆の合計の死者数は数言だけで21万人
というたった一つの火暴弾でして被害を出し、さらに
その前には神戸空襲や姫路空襲でも被害を
受けていたのになぜ戦争をほくおらせるのかを疑問に
思った。そして7月3日の姫路市街空襲では空襲が終わり
が終りのあちこちで立ち上った多くの市民の目に入った。姫路城は
戦後復興のエネルギーの原点だったこと。その時に見た
姫路土成はどれだけ美しかったのだろうか？ 姫路には
太平洋戦争の空爆死没者約5万人全てを追悼する
いれいとうがあること。僕はそのいれいとうに「僕たちはもう
戦争をしませんとちがいたいと思います。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

広島だけでなく、兵庫県にも空襲が起きていたこと。全国に12もあった。航空機製作所のうち11工場が焼けたことが分かった。

「火垂るの墓」で神戸と西宮を舞台に作っていた。ロシアとウクライナの戦争が1年9ヶ月をたったと聞いて、私はびっくりした。「太平洋戦全国戦災都市空爆死没者ひれい塔」があって、私は行ったことがないから、行きたいと思った。

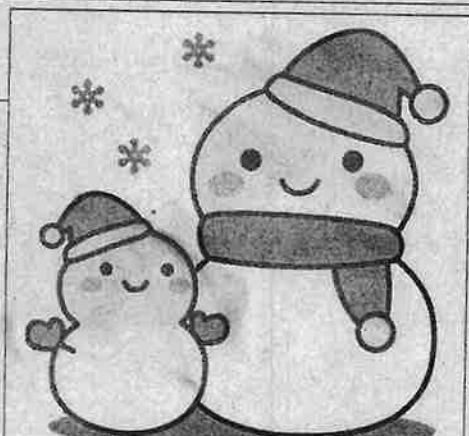


～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

長くていっぱい平和について分かりました。神戸とウクライナの関わりについてよく分かりました。結構昔から、神戸とウクライナは関わりが"ある"なと思いました。若い人が"沢の人へ悲しい出来事を伝える"と言ったので伝えていたのかなと思いました。広島に行くと、もっと平和のことについて学ぼうと思いました。もう一度と戦争が"起こらず"平和な世界になってほしいです!!

貴重な体験でした😊



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

いろいろな地域で空襲があったことが分かりました。

特に大きいのは僕達が行く「広島」「長崎」「沖縄」の3つの空襲だと思います。それはし、ていたけど被害が小さい空襲のことはあまり

知らなかったです。その中に「姫路空襲」もあります。そして日本は戦争をや

め平和な国を作っていたが他の国はそれから今にかけて戦争をし

ている国もあることがとても残念だと思いました。なぜ戦争が起こる

のかなぜ止められないのかこれを分からないとずっと戦争をすれば悪い

です。これからは日本だけが平和なのではな世界中が平和になれば一番いいな

と思いました。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

私が心に残った内容は2つあります。1つは戦争についての記事を若い記者が書いたということ。戦争を体験していない人が記事を書くところが、すごいと思いました。こうして取材をし、記事を書くことで若い人に歴史を受けついでいくのかなと思いました。2つ目は歴史的想像力を持つということです。10年、20年の先を想像することでその時は、どうなっているのか、平和なのかということを考えることができます。おので、今自分たちが「できること」があるかもしれ「できないこと」先のことを考えて行動する力を身につけていくことが大切だと思います。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

姫路空襲などの話がくり返し話されていて
よく分かった

ほかにも1人1つ平和のために出来る
事を考えて実行していきたいと
思いました。

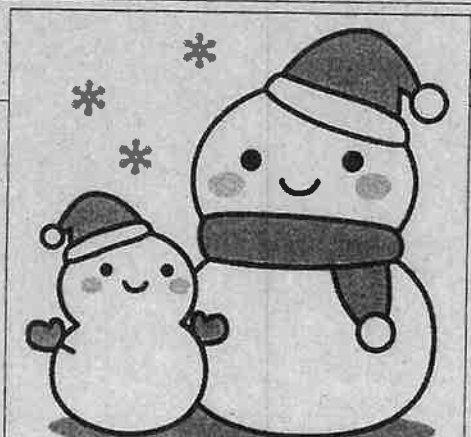


～新聞教育出前授業を聞いての感想～

4/21

※心に残った内容をまとめましょう。

戦争の^怖い^さや^重い戦争のお話^をきいて^はい^ろい^ろな^べん^ごの^たま^にも^心に^残ったし、^なが^いさ^もも^学ん^だと^いう^こと^をい^かに^考え^て行^きか^したい^なと^思いました。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

ぼくたちが戦争について知り、後世へ伝えていく
ことが大事だと思いました。兵庫県はいろいろな
国、県などに関わりがあることが分かりま
した。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

登下校中に空襲に備えて目と耳を防いで「伏せ
る子供たちがいて、訓練をして備えなければいけな
いほど、いつ空襲がおこってもおかしくない状況だ、た
のだと分かりました。「火垂るの墓」というシブリ映画は、戦
争で親を亡くした孤児のまよがしが必死に生き抜こうと
するが「死んでしまう」という物語だと知りました。でも、戦争の時代
は同いような子供が何人もいて、必死に生きようとしていたのかなと
思いました。今私たちは空襲に備えて登下校中に訓練
をしたり、親がいないから路上で大人のくつみがきをしている人
をたたくさんみたりすることはないです。今の日本は戦争がおこっていな

いのので少なからず平和なので、世界中にも、
平和が広がるといいなと思います。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

今日の新聞教育出前授業を聞いて、僕は僕が住んでいるエビ
域について、たくさんの方があんなに、なと思いま
した。僕たちが住んでいる姫路市ここにも空襲があ
ったのです。昭和20年、月に明石、3月に神戸に空襲が
あり、5次は姫路市をいう情報があった。僕たちが
生まれていながら、ときにたくさんの方があんな
で、今現在に生き残っているんだなと思
いました。自分たちがどう平和に生きておれ
いくかを考えたいです。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

戦争を知らない(受けない)人の話と戦争を知っている(受けた)人の話で雲泥の差があり重みが違うのが体で感じました。

そして戦争を知っている(受けた)新聞記者の三好さんは戦争の話がされましたが、いつも聞いている平和学習の話よりも「酷く、苦しく、悲しい」という感情が普段の話よりこみあげてきました。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

三好さんの話が聞き取りやすかったです。

神戸空襲、姫路空襲、第二次世界大戦について

よくわかりました。東西冷戦も。

核爆弾を使ってしまったら、ものすごい死者も出る
だろうし、環境はいいにちがいます。

おはびんがはよく分りました。ET、やジョーズを作っ

た人もウクライナに近い人。煙草の幕は、妹(節子)

が栄養失調で死を迎える。であるから、それくらい、
戦争は生きているに必死で、ごはんも十分に食べたい

いのかと思ってきました。

姫路にもいいところがある。

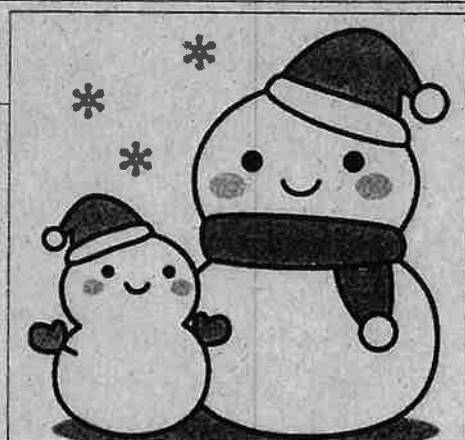
このことを話して、大島に行つて
学習したいです。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

今日で知ったことは、ロシアとウクライナの戦争から、1年9ヵ月経っているのを知ったり、ネ申戸空しゅう、姫路空しゅう、各場所の戦争について、詳しく知る事が出来ました。今回の新聞教育出前授業で知った事を校外学習で行く広島の原爆について詳しく知れたらいいなと思いました。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

詳しくて少し難しかった。沖縄のことや
太平洋戦争のことなど、沢山の
ことを知れました。戦争は悪で
絶対してはいけなると強く
感じた。知っていることもあったけど、
長い時間貴重な体験ができました。
若い自分達がこの先小学生に語り
つぎ、被爆者がこの世に居なくなっても
その悲劇を絶やさないことな
く伝えていかなければならぬ
なと思いました



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

あらためて戦争のひさんさ、同じあやまちも
くりかえさないように、一人でも多くの友達を作
くりたいなと思いました。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

核はやめようと考えを言っている、大国も今、核を手放さししているのがとても悲しいと感じた。スウエーは同じ誤り(戦争)くり返して、ある程度予測できるらしいが、予測できるという時点でとても悲しいと感じた。どちらかが多すぎると戦争はほとんど終るがその過程で死んだ人もいり、そのことで戦争をやめながら互いに戦い合う、多すぎなければ、戦争を続ける。多すぎると、それこそ死んだ人を見て、ソウに気持ちはなる、戦争を始めた時点で悲しい結末になるのが分かっていても、また戦争があると思った。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

女臣路空しゅうで女臣路城だけのこっていい
ことが心に残った。平和をいじめるためには
川邊に伝えつづけることが大切だと
思いました。自分たちでできることを
みいだしじっこうしていきたくてです。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

私は、姫路市に姫路城が今もあることがうれしい
なと思いました。

三好さんも言っていたように、戦争を経験した
人が経験していない人に伝えていくことが、
私も大切だ"と思います。

白鷺橋はただ古いた"と、思っていたけど

白鷺橋の汚れは、戦争で汚れた、戦争遺
跡だ"とゆうことが分かりました。

兵庫県が沖繩の人にとっては第2の故郷
とゆうことにおどろきました。 →裏へ



『人びとの、ささやかな幸せを
かみにじる権利は誰にもない』
とゆう言葉に心をうたれました。
このことはとても私のなかでは大切
だ"と思います。

人と人を架ける橋になりたいです。



～新聞教育出前授業を聞いての感想～

※心に残った内容をまとめましょう。

大切だと思いいじりとは2つあります。1つ目は、他人の痛みを共有し、自分のこととして考えること、2つ目は、他人の痛みを人ごととは思っていないこと。

今から先の平和を受けついでいくとはできないと思いいました。

2つ目は、戦争を知らない私たちが、戦争のことを知って、伝えるということ。未来の子供の世代に、私たちが学んだことを伝え、戦争はしてはいけないこと、分かってもらうことが大事だと思いいました。これから二度と戦争をおこさないために、三好さんも言っていた、「命と人権を守る」という考えは、いつになっても頭においておくべき。

大切なことだと思いいました。

